

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜清流中学校

校長名 村田 伊津子

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	□教育課程の再編成 ・ぎふMIRAI'sを踏まえた「総合的な学習の時間」の内容の検証 □授業改善 ・小集団を基本とした「聴き合い、学び合う」授業づくりと指導力の向上 ・大学教授等、教育に携わる専門家の意見を踏まえた取組改善	A	□教育課程の再編成 ・1年「防災」、2年「キャリア」、3年「平和」をテーマとして、校外活動、外部講師を招いた講話を実施した。 □授業改善 ・職員研修、授業公開(全教員)、研究者を招いた学びの共同体の公開研究会等を行い、他県からの参加者とともに授業研究を実施した。	・総合的な学習で学年ごとに課題を明確にし、防災教育、キャリア学習、平和学習とまさに子どもたちにとって、将来的にも人間力を付けていく学びに取り組みられていることを高く評価する。 ・防災教育について、いざというときに地域の中で率先して避難介助など、日中の災害時は成人が少ないので、まずは安全が確保できたうえで、動くことのできるスキルを学べるとよい。	・「ぎふMIRAI's」は、本年度の内容を基盤として、さらに系統性も踏まえた内容となるよう、学習指導部会で各学年担当が検討、進捗を管理する。 ・「学びの共同体」についての理解を深め、同じ方向を向いた研究が進められるようにする。 ・一人一人の授業力を高める。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	□コミュニティ・スクール機能の充実 ・早田、則武校区の地域活動、人材、施設等の把握と連携と活用 ・ICTを効果的に利用した本校教育活動の周知と理解の促進 □小中一貫教育の推進 ・相互訪問での情報共有と連携及びボランティア活動等での児童生徒間交流	A	□コミュニティ・スクール機能の充実 ・土曜教育活動で、校区在住の方を講師として招き、全校生徒を対象にしたキャリア教育講話や保護者を対象とした家庭教育学級を実施した。 ・地域行事等のボランティア活動に積極的に参加する生徒が多くいる。	・地域の様々な地域活動に積極的に連携をされ、活用されている。 ・学校の様子などが発信されると保護者として、安心感や家庭でのコミュニケーションの一環となりありがたい。 ・コミスク機能を生かした様々な取組について、地域としても今一重、ともに頑張っていきたい。ボランティア活動への協力については心より感謝。 ・小中学校の交流を一層進めてほしい。	・次年度も情報発信を積極的に進める。 ・あいさつ運動以外の場でも、子どもどうしの交流の場を設けることができるように、主幹教諭と小中一貫教育推進事業担当者を中心に計画する。 ・保護者や地域の方へ生徒の姿を見ていただく機会を増やす。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	□働き方改革の推進 ・勤務時間の正確な把握と月別時間外勤務時間からの業務の見直しと改善 ・部活動の地域クラブ化に向けた動きの促進 ・学校課題に機能的に対応できるようにするための組織づくり	B	□働き方改革の推進 ・本校の時間外勤務時間の平均値は、市内平均値を下回っているが、若手の職員が増え、授業準備や事務処理に時間がかかるため、個々で見ると課題はある。 ・部活動の地域クラブ移行について、引き続き、令和7年度からの休日部活動の完全地域クラブ化に向けて、保護者等との懇談を実施した。 ・担当と責任の範囲を明確にするため、校内の指導部を3指導部に再編成して実施をしたが、新たな課題も出てきた。	・教員の業務内容が多岐にわたることは本当にご苦労されていると思う。特に朝の通学前から勤務されている教員の超過勤務も適正に評価されてほしい。 ・休日の部活動を地域へ移行することは教職員にとってもありがたいと思うが、部外者と生徒との関係を注視していく必要がある。 ・ハード面、ソフト面ともに努力していただいている。様々な犯罪等が低年齢化する中、一層の関係機関と連携しての取組を望む。不登校生徒への取組を一層お願いしたい。	・学校職員の働き方改革について、早く帰る日の設定と徹底。会議の運営について、始めと終わりの時間設定と守れるようにするための手立てを持ち寄り、検討していく。 ・令和7年度休日地域クラブ完全移行に向けて、指導者、保護者との意見調整を進め、より良い在り方について検討する。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	□非常変災に対する安全性の確保 ・学校危機管理マニュアルの見直し ・気象警報時対応の周知徹底 ・効果的な命を守る訓練の計画、実施 □生徒指導事案への対応 ・問題行動・不登校に対する組織的な対応 ・校内フリースペースを有効に活用するための環境整備と経営方針及び内容の見直し	A	□非常変災に対する安全性確保 ・不審者対応について危機管理マニュアルを見直した。また、職員玄関にインターフォンを設置した。 ・生徒指導事案の対応について、組織での対応力が向上し、関係機関との連携も密に行うことができた。 ・校内フリースペースでは、作品作りを通して人との関わりが増加できるようにするなど、物品の整備を行った。	・すべての事案に対応することに無理がある。先生方の対応に頭が下がる。 ・フリースペースへ子どもが通ってみようと思えるのがよい。先生方の温かさがあるから通えと感謝している。 ・危機管理マニュアルの見直しは大変よい。現状から発生する分からない災害にしっかりと対応していただきたい。 ・不審者対応について、来賓玄関が開いていることがあるため、インターホンが設置されたため、常時、来賓玄関は開けておいた方がよいと思う。	・非常変災時の生徒の安否確認方法の周知、小中学校と合同の保護者への引き渡し訓練の実施。 ・生徒指導主事、いじめ対策監を中心とした、組織的な対応の強化。また、若手の職員を対象とした、対応等についての職員研修の実施。 ・校内フリースペースの運用方法について、生徒、保護者、教職員の共通理解を進める。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	□教育環境の整備と効果的な活用 ・学校備品点検の徹底 ・学校施設の修繕(老朽化) ・次年度に向けた教室確保と環境整備 □学校財務環境の整備 ・ICT有効活用による印刷費削減 ・業者選定への保護者参加	B	□教育環境の整備と効果的な活用 ・校門前交差点の道路のカラー舗装、学校内の側溝の清掃など、生徒の安全に係る部分についての整備をした。その他の施設改善も随時実施している。 ・体育館の空調工事について、2月14日に終了。 ・修学旅行等業者選定に加え、卒業アルバム業者選定を実施し、PTAから3名が参加。	・合併前よりある校舎であり、学校環境は他の学校に比べて古い。積極的に整備をしていただき、生徒により環境で学んでいただきたい。 ・安全確保のため北高前に門を設置していただくことは大変よいと思う。また、校門前の道路が整備され、子どもの安全が確保された。 ・業者選定に保護者が関わることはとてもよいことだと思う。 ・登下校時に中学校の横を通るが、歩道いっぱいになったり、時折、道路からはみ出したりしている生徒がいる。早急な校庭の活用をお願いしたい。	・教室の増加に伴う教室の環境整備。(3クラス増級予定) ・門の設置(岐阜北高前 横断歩道渡って学校へ入れるように)。また、門から運動場を通り、アスファルトの通路も整備予定。 ・ペーパーレス化により紙予算を削減し、学校予算の有効活用を進める。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/seiryu-i/>